

# すぐに使えるプログラム

Vol.113

## お話づくり その1

**ねらい** 「おはなしをつなげて行く」という作業を通して、想像力(創造力)をかきたてます

**時間** 1時間以内

**場所** 室内、野外でも可能

**人数** 何人でも

**季節** いつでも可

**用具** 筆記用具

### 手順

1. まず全員で輪になります(立っても座っても可)。リーダーが声をかけます。  
「これからみんなでひとつの物語を作ります。」  
リーダーを始めとし、右回り、左回りを決めます。
2. リーダーが物語の出だし部分となる最初の文章を投げかけます。  
(例)「ある春の暖かい日」、「むかし、まだ人々がお日様と同じリズムで暮らしていた頃、」など。
3. 次の人は、前の人が言ったセリフをまず言ってから、そこに自分の文章を足していきます。  
(例)「ある春の暖かい日」、「少年が河原へ行ってみると」など。
4. 1周したら、最後の人は物語を締めくくるセリフを添えて、完成させます。
5. 物語が完成したところで、それぞれに感じたことを話し合います。順番が回ってきたときのプレッシャーなど、振り返る内容は何でも良いです。最後の方になって物語が支離滅裂になってきても、悲観せず、前向きに考えましょう。基本的に何でもありです。大切なのは行き当たりバッタリを楽しみながら、みんなで一つのお話を作ろうとする過程です。

### ポイント

- 参加者にあまりプレッシャーを与えない雰囲気が大切です。
- ハイキングの後のまとめのアクティビティなどに使えます。

出典：イギリスのある「ワークショップ」で実施されていたものをアレンジ

